

NST がもたらしたもの

尾鷲総合病院 NST & CP Complex(NCC)、看護部 川口 恵

尾鷲総合病院は、一般病床 199 床、療養病床（医療型）56 床、計 255 床を有する東紀州地区の中核病院である。2000 年 7 月に PPM- 方式を用いた全科型 NST が設立され 10 年目を迎えた。NST 内部機構は、栄養管理を統括する NST 本体と、褥瘡チーム、摂食・嚥下障害チーム、呼吸療法チーム、生活習慣病対策チーム、病院食改善チームの 5 つのワーキングチームで構成されている。平成 18 年栄養管理実施加算の新設とともに NST 運営システムを再構築し、チーム医療が確立された。NST がもたらしたものは、体重測定に始まる栄養スクリーニングや栄養アセスメント、管理法の実施など一連の栄養管理法の普及、知識・技術の院内統一、ワーキングチームにおける専門的ケアの実施、チーム医療における各職種役割とその専門性、地域連携強化など病院全体の意識改革をもたらした。看護師の業務量としては、体重測定や栄養アセスメントが必要不可欠なものとなり、口腔ケアや嚥下訓練、褥瘡予防などの各チームの専門的ケアが必要となった。しかし、栄養管理の最終目標である「口から食べる」ためのプランニングや取り組みにより ADL が向上した症例や退院後の生活設計へのプランニングにより地域連携が図れた症例を経験し、NST の必要性を感じる。栄養管理を基本とする標準化された医療の提供と各チームの専門的治療の提供により、高齢者に代表される複数疾患を有する患者やハイリスク症例に対して NST の有用性が示される一方、NST の病院全体に対する効果として、在院日数の減少やカテーテル敗血症などの院内感染対策の予防、褥瘡発生率の減少など成果が見られた。院外評価としては、取材や見学を含め 700 人もの方が当院を訪れ、また、2005 年 1 月には「NHK スペシャル - 食べて治す - 」で放映されたこともあり、NST 普及に貢献できた。NST がもたらしたものは、基本的医療である栄養管理法の確立とチーム医療における専門職としての質の向上であると考えられる。